

News Release

日本をおいしくする

SHOWA

昭和産業株式会社

経営企画部広報課

〒101-8521 東京都千代田区内神田 2 丁目 2 番 1 号
(鎌倉河岸ビル)

TEL. 03(3257)2042 FAX. 03(3257)2097

<http://www.showa-sangyo.co.jp>

平成 22 年 1 月 4 日

昭和産業株式会社 平成 23 年 3 月期第 2 四半期決算の発表について

昭和産業株式会社（社長：横澤正克）の平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結決算は、売上高 1,069 億 43 百万円、経常利益 41 億 53 百万円となりました。平成 23 年 3 月期通期連結業績予想については、平成 22 年 5 月 14 日に公表した業績予想を修正し、売上高 2,150 億円、経常利益 65 億円を見込んでおります。

【平成23年3月期第2四半期連結決算】

当第 2 四半期連結累計期間の我が国経済は、円高の影響や厳しい雇用環境など、依然として先行き不透明な状況にあります。食品業界におきましても、消費低迷により競争は激化しており、厳しい環境が続いております。

原料穀物相場につきましては、7 月以降は小麦価格がロシアのかんばつによる小麦禁輸措置の影響を受け上昇しており、それに影響を受ける形で大豆やトウモロコシの相場も上昇しておりますが、前年同期と比較するとやや低位に推移しました。

このような状況の中、当グループは、2009 年（平成 21 年）よりスタートした「中期経営計画 09-11」の 5 つの基本戦略「①財務体質の強化」「②成長分野への注力」「③基盤事業の再成長」「④グループシナジーの追求」「⑤CSR 経営の推進」の下、具体的な施策の推進に努めてまいりました。

これらの結果、穀物相場が前年同期に比べて低位に推移した影響により販売価格は前年同期を下回りましたが、内食回帰のトレンドにより家庭用プレミックスの販売が好調に推移したことや、昨年 11 月に奥本製粉㈱が連結子会社に加わったことにより販売数量は前年同期を上回ったため、連結売上高は 106,943 百万円と前年同期に比べ 332 百万円（0.3%）の増収となりました。利益面では生産・販売効率の改善による全社的なコスト削減に努めましたが、穀物相場の影響により販売価格が前年同期を下回ったことなどにより、営業利益は 3,851 百万円と前年同期に比べ 2,459 百万円（39.0%）の減益、経常利益も 4,153 百万円と前年同期に比べ 1,817 百万円（30.4%）の減益となりました。また、四半期純利益も特別損失に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を計上したことなどにより 1,598 百万円と前年同期に比べ 1,684 百万円（51.3%）の減益となりました。

【平成23年3月期連結業績予想】

穀物相場が高値圏で推移しているためコストに見合う適正価格での販売に取り組んでおりますが、主に糖化製品・配合飼料で原料コスト上昇分の販売価格への転嫁が一部未達となる見通しであることや、上半期での飼料事業における口蹄疫の発生に伴うコスト負担増により収益を圧迫したため、通期の業績予想を修正し、売上高 2,150 億円（前期比 102.7%）、営業利益 62 億円（前期比 72.0%）、経常利益 65 億円（前期比 78.3%）、当期純利益 23 億円（前期比 64.7%）を見込んでおります。

以上

この件に関するお問合せ

昭和産業株式会社 経営企画部広報課 まで

TEL：03-3257-2042

FAX：03-3257-2097